

科目名	実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	300	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

1学年終了時には、婦人服の基本アイテムを製作するための縫製技術を修得する。

【科目の概要】

すぐれた衣服、アイデアのあるデザインを表現するためには縫製技術が必要である。

本教科では、婦人服の基本アイテムを製作するための縫製技術を学び、修得する。

基礎縫い・ブラウス・スカート・ワンピース・ジャケット・部分縫い(スカート・パッチポケット、箱ポケット、雨蓋ポケット・コート)の製作。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	道具説明	91～94 スカート部分縫い(4コマ)
1～5	基礎縫い(5コマ)	裁断・標付け・ベンツ額縁始末
6	採寸	コンシールファスナー付け・仕上げ
	スカート(25コマ)	95～140 ジャケット(46コマ)
6～8	製図、カットパターン、仮ベルト製作	製図・地直し
9	地直し	裁断 標付け
10～13	裁断・標付け	仮縫い組立・仮縫い・補正
14～18	仮縫い組立・仮縫い・補正	見返し・裏地・附属裁断
19	裏地裁断	縫製
20	芯貼り・テープ貼り	仕上げ・発表・提出
21～28	縫製	141～150 デザインアイテム(10コマ)
29・30	まとめ・発表・提出	デザイン授業と連携アイテム製作
31～33	ブラウス(20コマ)	裁断・縫製
34	地直し	まとめ・発表
35・36	裁断	
37・38	芯貼り・標付け	
39・40	プレタバッグ(2コマ) 裁断・縫製	
	ブラウス(20コマ)	
41～50	縫製	
51・52	仕上げ・発表・提出	
	ワンピース(32コマ)	
53～56	製図・カットパターン・地直し	
57・58	裁断・標付け	
59～63	仮縫い組立・仮縫い	
64・65	裏地・附属裁断	
66・67	芯裁断・芯貼り・テープ貼り	
68～81	縫製	
82～84	仕上げ・発表・提出	
	ポケット部分縫い3種(6コマ)	
85・86	パッチポケット	
87・88	箱ポケット	
89・90	雨蓋ポケット	

【成績評価方法】

課題作品 8 点の評価 60 %、 期末試験 30 %、 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『テーラリングテクニック』『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

教員作成のオリジナルプリント

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式

【実務経験の内容】

大手総合アパレルメーカーで5年間パタンナーとして婦人服の製造に携わった経験を活かし、服飾造形の基礎的な実習を指導する。

科目名	パターンメイキング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	180	作成者	大沢 妙

【科目の到達目標】

一般的な製図と製図用語、立体式製図の基本的な理論を理解出来る。オリジナルデザインの立体式製図が作図出来、パターンメイキング出来る。

【科目の概要】

服作りのプロセスで重要なパターン作りの平面作図を、上田学園ではオリジナルの立体式製図として長年研究してきた。立体製図の基本を理解することにより、オートクチュールの様な1点作品、オーダーメイド作品の制作を的確に作図する事が可能になる。又フレタイル、量販商品制作のパターンメイキングの「より良い製品作り」の土台となる技術である。教員のコンピュータ画像による製図と黒板製図をノート、ケント紙、模造紙に作図、整理する。トワールによる実寸組み立てをする。授業および復習製図はノートなどにファイルして提出し、教員のチェックを受ける。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	製図用具・縮尺さしの使い方 身頃原型	61 コート
3・4	採寸・スカート原型、名称	62 コート
5・6	前身頃について カット移動	63 コート
7・8	スカートのバリエーション フレアスカートの展開	64 デザイン製図
9・10	後ろ身頃について 襟ぐりの基本	65 オリジナルブラウスのパターンメイキング
11・12	長袖の基本とトワール作成	66 オリジナルブラウスのパターンメイキング
13・14	襟のバリエーション ウエスト始末①	67 オリジナルブラウスのトワール組
15・16	セミタイトスリーブ 半袖3種	68 オリジナルブラウスのトワール組
17・18	ウエスト始末② ワンピース	69 オリジナルブラウスのファーストパターン
19・20	ハフスリーブ ブラウス	70 オリジナルブラウスのファーストパターン・縫製仕様書
21・22	ワンピース	71 メンズパンツ
23・24	ブラウス キモノ袖の種類	72 デザイン製図
25・26	ジャケット原型 ジャケット身頃の基本	73 デザイン製図
27・28	キモノ袖のワンピース 二枚袖	74 デザイン製図
29・30	ステンカラー トワール組み	75 オリジナルワンピースのパターンメイキング
31・32	スラックス原型 パンジャマ	76 オリジナルワンピースのパターンメイキング
33・34	ステンカラーのデザイン製図	77 オリジナルワンピースのトワール組
35・36	ガウチョパンツ キュロットスカート パンツスーツ	78 オリジナルワンピースのトワール組
37・38	テーラードカラー トワール組み	79 オリジナルワンピースのファーストパターン
39・40	ツーピース ジャケット	80 オリジナルワンピースのファーストパターン・レポート
41・42	ツーピース	81 子供服原型・袖
43・44	ラグランスリーブ トワール組み	82 女児ワンピース
45・46	ショールカラー トワール組み	83 製図研究
47・48	オリジナルスカート製図	84 製図研究
49・50	アンサンブル ベスト	85 テーラードジャケットのパターンメイキング
51・52	オリジナルスカート トワール組み	86 テーラードジャケットのパターンメイキング
53・54	ツーピース フォーマルウェア講義	87 テーラードジャケットのトワール組
55・56	オリジナルスカート まとめ	88 テーラードジャケットのファーストパターン・レポート
57・58	リゾートウェア講義 前期まとめ	89 後期パターンのまとめ
59・60	前期まとめ	90 後期パターンのまとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社、『パターンメイキング I ①②』服飾手帖社、『紳士服製図・型紙の作り方』配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具一式(原型、実寸割り出し尺、1/2・1/3縮尺、三角定規、コンパス、分度器、トレーシングペーパー、マジヤ等)
製図ノート、ケント紙、模造紙

科目名	ファッションドローイング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	立嶋滋樹

【科目の到達目標】

デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれる様になる。

【科目の概要】

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	16	デザイン画選手権 制作②
2	右脳で描く(記号的認識の排除)	17	生地・素材の表現① (デニム素材)
3	人物クロッキー・線の種類(多様な線)	18	生地・素材の表現②
4	比率・プロポーションアナライズ・直立ポーズ	19	生地・素材の表現③
5	比率・プロポーションアナライズ・片足ポーズ	20	パーツ・金属の表現①
6	人物クロッキー・骨格と重心	21	柄を描く
7	ヌードボディの着色	22	メンズデザイン
8	ヌードボディへの着装①	23	オリジナルデザイン画
9	ヌードボディへの着装②	24	デザイン画によるコミュニケーション「ブック」
10	服のディテール(ドレープ・フリッツ・ギャザー)	25	「ブック」製作 マкет制作の意味
11	顔のプロポーションとディテール	26	「ブック」製作 スケジュール管理について
12	身体の詳細(手・足・脚等)①	27	「ブック」製作 材料の選択について
13	身体の詳細(手・足・脚等)②	28	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半
14	デザイン画選手権準備・情報の集め方	29	「ブック」プレゼンテーション(発表)前半
15	デザイン画選手権 制作①	30	学期末テスト
学期末テスト			

【成績評価方法】

授業内での提出物(半期5~7点)の評価と、学期末テストの合計

【教科書・参考書】

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

【教材・教具】

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類
ファッション雑誌など

科目名	ファッションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	小西祐司

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ファッションデザインのもと1 エレガントとスポーティ		16 ジャケットのデザイン1 「ジャケットの変遷」
2	デザイン演習		17 ジャケットのデザイン2 「ジャケットの種類」
3	ファッションデザインのもと2 モダンとフォークロア		18 ジャケットのデザイン3 「ジャンパーの種類」
4	デザイン演習		19 デザイン演習
5	スカートのデザイン1 「スカートの变遷」		20 デザイン演習
6	デザイン演習		21 コートのデザイン1 「コートの種類」
7	スカートのデザイン2 「ドレスの変遷」		22 デザイン演習
8	シャツ・ブラウスのデザイン1 「襟」		23 フットウェアのデザイン1
9	シャツ・ブラウスのデザイン2 「袖」		24 フットウェアのデザイン2
10	デザイン演習		25 アクセサリー 帽子のデザイン
11	パンツのデザイン 1		26 バッグのデザイン
12	パンツのデザイン 2		27 デザイン演習 (トータルコーディネート)
13	デザイン演習		28 デザイン演習 (トータルコーディネート)
14	上田学園コレクション デザイン画		29 デザイン演習 (トータルコーディネート)
15	上田学園コレクション デザイン画		30 まとめ

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	色彩構成	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	中西 學

【科目の到達目標】

色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。
色彩の知識と感覚(感性)を服飾に反映させる。

【科目の概要】

ファッション分野に限らず色彩は重要であり、色を主観ではなく客観的に分析できるための授業を行う。
テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行なう。
授業前半に配色技術を習得して、後半のイメージ配色では各自の独創性を表現する。

【授業計画】 90分/コマ

前期

- 1 色の三原色から色相作り～カラーカードの作成
- 2 基本配色 I 『対比の配色』
- 3 基本配色 II 『明度・彩度対比の配色』
- 4 コスチューム・ポーズのデザイン
- 5 明度・彩度段階の配色
- 6 基本配色 III 『ファッションイメージとトーン』
- 7 ファッションモードの資料作成
- 8 トーンの理解と配色
- 9 イメージ配色 I 『テキスタイル・イメージ』
- 10 テキスタイルパターンのデザイン
- 11 イメージカラーの配色
- 12 イメージ配色 II 『ポートレート』
- 13 コラージュの画面構成
- 14 カラー・イメージスケールの配色(一週目)
- 15 カラー・イメージスケールの配色(二週目)

修業テスト

【成績評価方法】

課題作品 5点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗)
スケッチブック. 配色カード. 定規. 雲形定規. コンパス等

科目名	立体構成	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	中西 學

【科目の到達目標】

服は造形物であるという概念をもち、山折り・谷折りの基本と応用パターンを服飾に展開する。
制作過程を通して形をつくるための方法論と技術を習得する。

【科目の概要】

ファッションは時代を象徴しているが、その構成原理を理解し、発想力を高める授業を行う。
主にケント紙を素材にした立体の基本と応用の課題制作を行い、造形の美しさを表現する。

【授業計画】 90分/コマ

後期

1	『直線構成の山折り・谷折り』
2	『曲線構成の山折り・谷折り』
3	『形の多様性の制作』
4	プリーツパターンの制作
5	完全立体の形に展開
6	幾何学的形態と有機的形態の制作
7	オリジナル形態の制作
8	『ケント紙による実用試作品』
9	作品プランニング
10	図面制作
11	折り加工
12	『プログレッシブ・ワーク(拡張する作品)』
13	ユニット(単位形)のデザイン
14	シルエットの検討
15	スチレンボードの構築
試験期間	修業テスト

【成績評価方法】

課題作品 5点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

資料プリント『美の構成学・バウハウスからフラクタルまで』三井秀樹 著 中公新書 2011年(第10版)
資料プリント『立体ふしぎ折り紙』三谷 純 著 二見書房 2011年1月

【教材・教具】

ケント紙、スチレンボード、カッターナイフ、定規、コンパス、メンディングテープ、カッティングマット、接着剤 など

科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。
 本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維一綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維一麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維一毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維一絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 40 %
 テスト 50% (期末試験40%, 小テスト 10%)
 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
 ・『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピュータ演習Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。
Illustrator&Photoshopのデザインソフトを活用技術を修得し、イメージマップやハンガーイラストなどを作成できる。
メールアカウントの設定やパスワード・署名などビジネスメールに必要な基礎知識を身に付ける

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

1	メールアカウント設定とクラウドの使い方・課題提出方法
2	illustrator・Photoshopの基本操作
3	自己PRシート作成
4	illustrator・ペンツール練習
5	タイトスカート・ハンガーイラスト練習
6	Photoshop マップ制作
7	Photoshop 続き
8	Photoshop 完成
9	テーマ自由マップ完成
10	色を付ける前提でのジャケットハンガーイラスト
11	ジャケットハンガーイラスト完成
12	スキャンして塗りつぶし練習
13	illustratorテスト練習
14	Photoshopテスト練習
15	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】**【教材・教具】**

プリントやPDF等で配布 メモリフラッシュ 筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義60% 実習40%
時間数	30	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識と社会人に必要なコミュニケーション能力を講義と演習(グループディスカッション)により修得し、ファッションマーケットの情報収集力・分析力を身につけ、市場変化のポイントを発見し、今後のファッションビジネスについて自らの意見を持てるようになる。

【科目の概要】

近年eコマースなどを中心にモノの売られ方が大きく変化している。そこで流通されるファッション商品のクリエイションに関わる者にとっても、ファッションビジネスを理解し意識する力はこれからも求められる。そこでファッションビジネスの基礎知識としてファッションビジネスの基本的な仕組みを理解した上で、常に変化し続ける今の時代のファッションビジネス情報を業界誌や業界新聞などから収集し、どのような変化が見られるのかを講義とグループディスカッションにより習得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ファッションビジネスとは
- 2 ファッション商品の流通
- 3 ファッションビジネスのサイクル
- 4 ファッションビジネス市場Ⅰ 研究
- 5 ファッションビジネス市場Ⅰ 発表
- 6 ファッション消費者
- 7 ファッション小売業Ⅰ
- 8 ファッション小売業Ⅱ
- 9 ファッションビジネス市場Ⅱ 研究
- 10 ファッションビジネス市場Ⅱ 発表
- 11 アパレル産業Ⅰ
- 12 アパレル産業Ⅱ
- 13 ファッションビジネス市場Ⅱ 研究
- 14 ファッションビジネス市場Ⅱ 発表
- 15 期末試験

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

日経MJ・織研新聞・読売新聞・WWD

【教材・教具】

科目名	クロッキー	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

ファッションの現場で求められる、様々なタイプのデザイン画を製作する為の技術や、ニーズを読み取る力を身につける。

【科目の概要】

クリエイティブな仕事では、ビジュアル面のイメージのやり取りがあり、コミュニケーションツールとしてのデザイン画は必要不可欠である。

意識的な方法論と反復練習により、デザイン画の基礎を構築する。

【授業計画】 90分/コマ

1週目	授業内容説明	観察と再現	プリント演習	
2週目	人物クロッキー(鉛筆)1	立ちポーズ		
3週目	人物クロッキー(鉛筆)2	立ちポーズ	合評	
4週目	人物クロッキー(鉛筆)3	重心移動		
5週目	人物クロッキー(鉛筆)4	座りポーズ(サイズ・コンポジション)	合評	
6週目	様々な画材で描く1	サインペンで輪郭線を描く		
7週目	様々な画材で描く2	コンテで輪郭線・影を描く		
8週目	様々な画材で描く3	鉛筆＋マーカーで輪郭線＋影を描く		
9週目	着彩クロッキー1	鉛筆クロッキー＋アクリルガッシュ		
10週目	着彩クロッキー2	鉛筆クロッキー＋アクリルガッシュ		
11週目	着彩クロッキー3	鉛筆クロッキー＋アクリルガッシュ		
12週目	自由なクロッキー1			
13週目	自由なクロッキー2			
14週目	モデル(ヌード)クロッキー	(試験)		
15週目	まとめの合評	作品返却		

【成績評価方法】

授業内での課題(クロッキー作品)6点前後と、期末のモデルクロッキー(ヌード)の合計点

【教科書・参考書】

【教材・教具】

クロッキーノート、ケント紙、スケッチブック、各描画材、アクリルガッシュなど

科目名	クリエイティブデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	30	作成者	桑原 守

【科目の到達目標】

インスピレーションソースの獲得からイメージ表現・デザインング・作品製作までできるを目標にする。

【科目の概要】

クリエイティブなデザイン表現ができるようになるために、古着のリメイクやバッグのデコレーション、ファッションスタイリングを通してインスピレーションの引き出し方やイメージマップの製作、デザイン画から作品製作までを学ぶ。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
- 2 インスピレーションとは
- 3 ファッションイメージ表現1
- 4 ファッションイメージ表現2
- 5 デコレーションとリメイク方法
- 6 プレタ展(トートバックのデコレーション)1
- 7 プレタ展(トートバックのデコレーション)2
- 8 プレタポルテ展のリサーチとプレゼン
- 9 ファッションイラスト表現1
- 10 ファッションイラスト表現2
- 11 ファッションスタイリング表現1
- 12 ファッションスタイリング表現2
- 13 ファッションカスタマイズ1
- 14 ファッションカスタマイズ2
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題評価60% 試験評価30% 授業研究態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッショントレンド研究	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	14	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

自身のアイデンティティを築くには、基本的なリサーチが不可欠であることを解説。リサーチとは、どのように進めるべきか、何に役立つのか、なぜ行うのか、今のコレクションから意図を紐解きながら、独創性あふれる現代のビジュアルを意識させる。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要 ファッション業界、用語のA to Z
- 2 コレクションSSトレンド情報
- 3 コレクションAWトレンド情報
- 4 アイデアの出し方
- 5 アイデアからデザインへ
- 6 コレクションから市場へのトレンドの流れ①
- 7 コレクションから市場へのトレンドの流れ②

【成績評価方法】

課題90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

ファッション週刊誌WWDジャパン

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

科目名	ファッションデザイン演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	14	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

チャレンジ精神をもって常に市場ニーズを先取りし、新しい価値と文化を創造しつつ、時代の変化に挑戦し続ける力を身につけることを目標とする。デザイン・プロセスとリサーチ・プロセスの関係性を掴み、両者が切っても切れない関係性であることを理解する。

【科目の概要】

前期のファッショントレンド研究で身に着けたリサーチスキルを駆使してオリジナルブランドの企画を行う。世界情勢やトレンドを理解したうえで自身のアイデンティティに基づいたブランド企画の流れを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 授業概要
- 2 コンセプト解説
- 3 ターゲット設定
- 4 ムードボード作成
- 5 デザイン展開①
- 6 デザイン展開②
- 7 プレゼンテーション

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

・ファッション週刊誌WWDジャパン
・WGSN

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント